浦所バイパス道路の向こうまで聞こえるという（コレ、ホント）年少さんの鳴き声の大合唱・・・5月の訪れとともに下火になってきたでしょうか。ようやく幼稚園が“幼稚園らしく”回り始めたようです。

上履きや靴下でお部屋も芝生も駆け回る、外ではカラー帽子を！と先生に追いかけられ、そうすると更に楽しくなってまた走り・・・集団生活にはルールが多くて初めての子らには戸惑いばかり。お母さんから離されて、3歳児さんにとっては楽しみよりもふんわりけったりでこんなはずじゃなかった、という4月だったかもしれません。それでも日々の積み重ねで、少しずつ自分でできることが増えて嬉しいとか、ここが自分の居場所、楽しいことに出会えるところ、となんとなくでも感じてくれているならば嬉しいです。年少さんが集団生活のルールを、必要なものであると理解し守れるようになるのはもう少し先かもしれません。

戸惑いは3歳児に限ったことではなく、環境が変わり新しい生活に踏み出した年中さん、年長さんも同様で、どの子にも不安や、もしかすると不満もあったでしょう。それでも幼稚園に来て「おはよう！」と声をかけ合えば、気持ちを切り替えて遊びに向かっている姿は見ていて頼もしく、元気をもらえます。マイナスの感情ばかりでなく、同じように期待やワクワク感ももっているはず！私たち保育者は、ひとりひとりの不安な気持ちに寄り添いつつ、安心して過ごせるためにはどうしたらよいか、どうしたらより楽しめるか、普段興味を持たない子が振り向いてくれるには・・・等々思いを巡らせています。子どもたちの期待やワクワク感に力いっぱい応えてゆかねば！

ところで、先日4月生まれさんのお誕生日カードに貼る写真を見せてもらいました。毎日のように泣いていたのがウソのような笑顔！こうでなくっちゃ！

ゴールデンウィークも後半を迎えます。子どもたちが、輝くような笑顔で再び登園してくれることを願いつつ、私たちも楽しいことをいっぱい準備して子どもたちを迎えたいと思っています。みなさま素敵な休日を！
(坂本)

今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）

3歳

- ・ 一人遊びを充分楽しむ
- ・ 友達の名まえやマークに興味をもつ
- ・ みんなでいるところで遊んだり、見たり聞いたりすることの楽しさを知る
- ・ 園生活の流れがわかり、身の回りの始末を自分でやろうとする

4歳

- ・ 園生活のリズムになれて活動や遊びにすすんで参加しようとする
- ・ 自分の意見が言える(うれしいことや悲しいことを自分なりの言葉で表す)
- ・ 相手のことも聞こうとする

5歳

- ・ 自分がしたいと思う遊びをくりかえし楽しむ
- ・ 今日、明日何をするという短期の目的だけでなく、比較的長期の見通しが漠然とでもわかって行動できる
- ・ 互いに言いたいことが言える(認め合い)